



学会ホームページ <http://jasce.jp>

015号(2013年5月23日)

目次

- 2013年度全国大会
- ・開催校からのご挨拶
- ・大会発表者募集中!
- ワークショップ開催
- 今後のワークショップ
- 各地の勉強会・研究会の予定
- 出版情報

2013年度全国大会

日本協同教育学会第10回全国大会は、2013年11月30日(土)・12月1日(日)に札幌大学にて開催します。また、前日11月29日(金)には、プレ・イベントとして札幌市立西宮の沢小学校にて、授業見学・研究会を行います。



札幌大学

開催校からのご挨拶

札幌大学・伊藤公紀

北海道教育大学・鹿内信善

新しい年度になりました。今年度の日本協同教育学会開催校から、第10回大会開催にあたってのご挨拶申し上げます。

第10回大会は、11月29日・30日・12月1日の3日間です。29日の会場は、札幌市立西宮の沢小学校です。西宮の沢小学校は『『みる人』を育てる』というテーマを掲げて学校づくり・授業づくりをしています。日本協同教育学会開催にあわせて、『『みる』をキーワードにした協同学習・協同教育』の授業公開を行います。西宮の沢小学校の実践をご覧いただき、いろいろご助言・ご指導くださいますようお願い申し上げます。11月30日と12月1日

には、会場を札幌大学に移し、研究発表・ワークショップ・シンポジウム・講演等を行います。また第10回大会は、札幌大学と北海道教育大学の共催となります。このため、伊藤公紀(札幌大学)と鹿内信善(北海道教育大学)が仕事を分担して運営にあたらせていただきます。

大会開催の手伝いをしてくれるのは「看図作文研究会」のメンバーです。「学会」に慣れていない方々の力を借りて開催します。いろいろご不便をおかけすることが多いと思いますが、どうぞご寛容ください。

わたしたちは「ひっそりと精力的に」をモットーにして「実践を重視」した活動を重ねています。今回の大会も、わたしたちの日々のあり方を反映したものになるかと思います。第10回の記念大会ではありますが、特別に華しいイベントを用意することができません。おそらく、「ひっそり」としたものになるかと思います。この点につきましてもご理解くださいますようお願いいたします。

ただし「実践を重視」した大会にしたいという強い思いをもっています。そのため、少人数が集える部屋を多く準備しました。ワークショップや体験型学習を、たくさんプログラムに入れられるようにしました。皆様方の日々の取り組みを、大会参加者が共有できる「実践」としてもっていただきますようお願い申し上げます。もちろん、通常の「研究発表」も大歓迎です。「実践」にウェットをおいた大会を「精力的に」つくりあげていくつもりです。

11月末の札幌は、「根雪になるかならないか」という微妙な時期です。せっかく皆様に札幌までおいでいただくのですから、できるだけ美しい雪景色でお迎えできるよう努力していきます。その努力のひとつとして、わたしたちのア

ートスタッフが制作した看図作文用絵図をひとつ添えておきます。雪景色の札幌でお会いできますこと楽しみにしております。(文責・鹿内信善)



看図作文用絵図

大会発表者募集中!

現在、全国大会の発表者を募集しています。{申し込み〆切:7月15日まで(必着)}。発表形式は、口頭発表(実践報告/研究発表)・ラウンドテーブル・ワークショップの3つです。申し込みを希望される方は、「発表申し込み票」(学会ホームページよりダウンロードして下さい)を大会準備室(taikai10@jasce.jp)に添付してお送り下さい。メールの本文に必要事項{①氏名と所属、②連絡先(メール、電話、住所のすべて)、③発表タイトル、④発表形式(口頭発表/ラウンドテーブル/ワークショップ(100分・200分)のいずれか)}を明記して申し込み頂いても構いません。

なお、発表および企画の枠には限りがありますので、すべてのお申し込みをお受けできるとは限りません。ご了承下さい。申し込みが受理された段階で、受理通知を兼ねて『大会要稿集』への原稿依頼をします。ただし、期日までに原稿が入稿されない場合、発表が取り消されることもありますのでご注意ください。

詳細は学会ホームページにてご確認下さい。

JASCE

ワークショップ情報

●ワークショップ開催

2/23-24と3/23-24、ベーシックのワークショップが創価大学にて行われました。

2月のワークショップには、23名が参加しました。講師をされた根上明先生からは、「真剣に学ぶ皆様の姿に身が引き締まりました。ワークショップでの知識と実践経験を関連づけながら新たな価値を参加者全員で共に創るこ



2月のワークショップ

とができた2日間でした」との感想を頂きました。

また、3月のワークショップには20名が参加し、講師の太田昌宏先生は、「講師として、2日間のワークショップを担当させていただきました。受講者の方々の熱心かつ主体的な取り組みによって、深い学びと気づきが得られる場が創作されたと思います。協同学習を実践することの楽しさとやりがいを実



3月のワークショップ

感しました」と述べられています。

●今後のワークショップ

今後予定されているワークショップは、以下の通りです。参加ご希望の方は、本学会ホームページよりお申込み下さい。

◇ベーシック：

8月24日(土)～25日(日)

南山大学(名古屋)

◇アドバンス：

5月25日(土)～26日(日)

立教大学(池袋キャンパス)

11月16日(土)～17日(日)

南山大学(名古屋)

●各地の勉強会・研究会の予定

現在、各地の研究会が精力的に行われております。次回の研究会の予定は以下の通りです。

◇名古屋・東海地域<名古屋・協同の学びをつくる研究会>6月14日(金)19時から(開場:18:30)、場所:名古屋大学教育学部 第2講義室(講義棟1F)。ご連絡は、水野正朗まで。(mizunokita@yahoo.co.jp)

◇岡山・山陽方面<協同学習研究会>7月6日(土)14:00～17:30、場所:岡山大学教師教育開発センター東山ランチ。ご連絡は高旗浩志まで。(takahata@okayama-u.ac.jp)

◇福岡・九州方面<授業づくり研究会>6月22日(土)13:00～17:30、場所:久留米大学御井キャンパス学生会館3階ミーティングルーム3。ご連絡は安永悟まで。

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

※本年度より、学会ホームページにて各地の勉強会・研究会の情報を随

時ご案内しています。ぜひ、ご覧下さい。

●出版情報

◇2013年1月、本年度全国大会準備委員長の鹿内信善先生(北海道教育大学)の編集による『協同学習ツールのつくり方いかし方-看図アプローチで育てる学びの力』がナカニシヤ出版より出版されました。本書では、協同学習を効果的に行わせていくためのツールとしての「看図」とその活かし方について詳しく説明されています。本年の全国大会においても看図作文のワークショップが企画されています。◇2013年3月、石川晋・佐内信之・阿部隆幸編『協同学習でどの子も輝く学級をつくる』が出版されました(学事出版)。本書は、「授業づくりネットワー



ク」主催で行ったケーガン勉強会の成果が収められており、授業の進行あるいは学習のねらいに応じて使う「協同学習」の技法が紹介されています。

◇2013年3月、プロジェクトアドベンチャー・ジャパン著『クラスのちからを生かす-教室で実践するプロジェクトアドベンチャー』が出版されました(みくに出版)。アドベンチャーの持つ力やプロジェクトアドベンチャー(PA)の考え方が学校現場に即して説明されており、第4章では、協同学習とPAのよさを生かし合った実践について提案されています。

